

科目名 (英)	人間関係学 (Human Relations)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	学科・コース 介護福祉士科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜、1時限目

【授業の学習内容】

介護実践のために必要な人間の理解や、他者への情報の伝達に必要な、基礎的なコミュニケーション能力を養うことができる。
 介護実践に必要な人間理解のもと、どのようにコミュニケーションを行うのか、またコミュニケーションで他者へ情報を伝達するための基本的技術が理解できる。
 ※実務者経験:①福祉施設等に所属していた。主業務は高齢者の介護、相談支援業務を担当していた。取得資格:社会福祉士・介護福祉士

【到達目標】

※他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢と基本的なコミュニケーション技術を身に付けることができる。また円滑なコミュニケーションの基本を身に付けることができる。

大目標・・・

「人間関係と心理」、「対人関係とコミュニケーション」、「コミュニケーションを促す環境」、「コミュニケーションの技法」、「道具を用いた言語的コミュニケーション」が理解できる。

中目標・・・

「自己覚知、他者理解、ラポール、その他」、「対人関係・コミュニケーションの意義」、「対人関係・コミュニケーションの概要」、「対人距離(物理的・心理的距離)」

授業計画・内容

1回目	「関係づくりのための人間の理解①」…関係を形成する前段階として、個々の認知の世界について理解できる。
2回目	「関係づくりのための人間の理解②」…人生における主人公として人間の理解を深めることができる。
3回目	「関係づくりのための人間の理解③」…人間関係を形成する中で生じるストレスについて理解できる。
4回目	「関係づくりのための人間の理解④」…介護者としての援助対象者の捉え方が習得できる。
5回目	「人間関係の形成①」…人間関係のさまざまなひろがりについて理解できる。
6回目	「人間関係の形成②」…人間関係の発展性について理解できる。
7回目	「人間関係の形成③」…エコロジカルな視点からみた人間関係について理解できる。
8回目	「人間関係の形成④」…集団力学から見た人間関係について理解できる。
9回目	「コミュニケーションの基礎①」…コミュニケーションの基本的な知識について理解できる。
10回目	「コミュニケーションの基礎②」…コミュニケーションの方法と目的について理解できる。
11回目	「コミュニケーションの基礎③」…コミュニケーションを促す環境について討論を交えて理解を深めることができる。
12回目	「コミュニケーションの技法と実際①」…介護者としてのコミュニケーション技法が習得できる。
13回目	「コミュニケーションの技法と実際②」…生活場面面接におけるコミュニケーション技法について事例を用いて理解を深めることができる。
14回目	「コミュニケーションの技法と実際③」…カウンセリングにおけるコミュニケーション技法について事例を用いて理解を深めることができる。
15回目	「コミュニケーションの技法と実際④」…実際の介護場面におけるコミュニケーション技法について理解できる。
準備学習 時間外学習	準備学習…授業に臨むにあたって、教科書の内容を熟読しておく必要があります。 時間外学習(復習)…各単元の講義後に確認テストを実施します。講義の復習が必要です。
評価方法	成績の評価は、「試験」の点数で100点満点とする。「試験」には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験の評価などが含まれる。
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

教科書: 新・介護福祉士養成講座①「人間の理解」(中央法規出版)